

平成28年度行政事業レビューシート (復興庁)

事業名		福島イノベーション・コースト構想実現可能性調査等補助事業		担当部局庁	復興庁		作成責任者			
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	平成32年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 後藤 浩平			
会計区分	東日本大震災復興特別会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	○イノベーション・コースト構想(平成26年6月) ○福島イノベーション・コースト構想に係るロボットテストフィールド及び国際産学官共同利用施設(ロボット)の整備及び運営に関する協定(平成28年1月) ○「復興・創生期間」における東日本大震災からの復興の基本方針(平成28年3月) ○「日本再興戦略2016」(平成28年6月) ○「経済財政運営と改革の基本方針2016」(平成28年6月)					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ロボットテストフィールド、国際産学連携拠点、スマートエコパーク、エネルギー関連産業プロジェクト、農林水産プロジェクト等の福島イノベーション・コースト構想のプロジェクトについて、県や民間企業において、プロジェクトの具体化を進めていくにあたり必要な調査等を実施する。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	県や民間企業等が主体となって検討するプロジェクトについて、実施体制、拠点の機能、他の機関との連携・機能分担等の課題を検討する実現可能性調査等に必要な費用を補助する。									
実施方法	補助									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	0	0	0	100	200			
	執行額	-	-	-	-	-				
	執行率(%)	-	-	-	-	-				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度	
	福島イノベーション・コースト構想の拠点整備やプロジェクトの具体化等への活用について、平成32年度までの累計活用件数20件。		福島イノベーション・コースト構想の拠点整備やプロジェクトの具体化等の活用件数	成果実績	件	-	-	-	-	-
			目標値	件	-	-	-	-	20	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	調査事案件数		活動実績	件	-	-	-	-		
			当初見込み	件	-	-	-	4		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	執行額/調査事案件数		単位当たりコスト	百万円/件	-	-	-	-		
計算式			百万円/件	-	-	-	-			
平成28・29 年度 予算 内 訳 (単位:百万円)	歳出予算目		28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	人件費		74	147	調査件数の倍増。					
	事業費		12	24						
	その他		14	29						
	計		100	200						

政策評価、 経済・財政再生 アクション・ プログラムとの 関係	政策	IV. 中小・地域							
	施策	5. 福島・震災復興							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		実績値	-	-	-	-	-	-	-
	目標値	-	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	<p>本事業により具体化される福島イノベーション・コースト構想の拠点整備やプロジェクトの実施を通じて、福島県浜通り地域においてイノベーションが継続して創出される環境整備が進捗することにより、福島県浜通り地域における新技術・新産業の創出に寄与する。</p> <p>なお、これらイノベーション・コースト構想関連事業は政府方針等に復興施策として位置づけられており、本事業を着実に推進することにより、福島県浜通り地域の広域的かつ自立的な経済復興の早期の実現を図る。</p> <p>(参考)「経済財政運営と改革の基本方針2016」(平成28年6月2日閣議決定)</p> <p>4. 東日本大震災からの復興・創生</p> <p>(3) 原子力災害からの復興・再生</p> <p>(略) 浜通り地域の広域的かつ自立的な経済復興に向けて、ロボット・廃炉・エネルギー・農林水産業など、福島イノベーション・コースト構想の重点分野に係る各種拠点の整備、実用化開発等の促進、拠点を中核とした産業集積・周辺環境整備等の施策を、関係省庁が連携して着実に推進していく。</p> <p>(略)</p>								
	改革項目	分野:	-						
	経済・ 財政再生 アクション・ プログラム	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
目標値			-	-	-	-	-	-	
達成度		%	-	-	-	-	-		
KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
	目標値	-	-	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									
事業所管部局による点検・改善									
	項目	評価	評価に関する説明						
国費投入の 必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	イノベーション・コースト構想は、住民の経済的自立と地域経済の復興のため、福島県浜通り地域の産業基盤の再構築を目指すものであり、福島県をはじめとした地元から構想の実現・具体化が求められている。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	-	-						
事業の 効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	イノベーション・コースト構想の拠点整備やプロジェクトのうち、今後具体化が必要なものについて具体化を進めるための事業であり、優先度の高い事業である。						
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	事業採択に当たっては、公募を実施し、競争性が確保されており、妥当である。						
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有							
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	国が策定したイノベーション・コースト構想の拠点整備やプロジェクトの具体化についての経費を補助するものであり、負担関係は妥当である。						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	採択に当たって、コスト水準の妥当性を事務的にチェックしている。						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-						
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	採択に当たって、費目・使途の必要性を事務的にチェックしている。						
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-							
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-							
事業の 有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-						
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-						
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-						
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-						

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	本事業は、ロボットテストフィールド、国際産学連携拠点、スマートエコパーク、エネルギー関連産業プロジェクト、農林水産プロジェクト等の福島イノベーション・コースト構想のプロジェクトについて、県や民間企業において、プロジェクトの具体化を進めていくあたり実施体制、拠点の機能、他の機関との連携・機能分担等の課題を検討する実現可能性調査等に必要な費用を補助するものである。本事業の実施により、福島浜通り地域の復興に向け、イノベーション・コースト構想関連プロジェクトを着実に推進していくことが必要。			
	改善の方向性	本事業の目標達成に向けて、点検項目の評価を維持していく。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	福島県浜通りの復興に資する必要性の高い事業であり、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	事業目的の達成に向け、引き続き、効率的・効果的な執行に努めていく。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

復興庁



【経済産業省へ移し替え】

経済産業省



【公募・補助】

A. 福島県、民間企業
等

〔プロジェクトの具体化のための調査等〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)